

# まちづくりは人づくりから

名寄市教育長 藤原 忠



南小学校児童との対話集会

**は** じめに、東日本大震災で被災されました皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

さて、加藤市政が船出をして一年が経過しました。10年20年先に針路を定め、大海原を乗り切っていくためには、強力なマンパワーが必要です。人づくりには教育が果たす役割も大きいことから、私も張り切って頑張っています。

学校教育については、来月号から連載で各学校の取り組みが紹介されますので、ここでは主に保護者や地域の皆さまと一緒に取り組んでいきたいことをいくつかお話いたします。

**ま** ず初めに、「次代を担う子ども達の健やかな成長」についてです。

・「早寝・早起き・朝ご飯」、  
「家庭学習」、  
「読書」など学力向上の礎となる基本的な生活習慣を身につけましょう。携帯電話やゲームで夜更かしをしていませんか？

・チームジャンプ、綱引き、へっちゃんランド、杉並区との交流、その他にも、少年団活動や部活動、各学校の特色ある行事などに積極的に取り組んでいきますか？

・全国的に暴力行為や不登校、いじめが大きな問題になっています。昨年は上

川管内でも中学生が大麻を所持していたというショッキングな事件がありました。ダメなことは体を張ってもダメと言っ勇氣が私たちには必要ですね。

・名寄では今年度から教育推進アドバイザーを「ほっと21」に新たに配置し、学校としっかり連携しながら、不登校やいじめ、非行事故の未然防止に努めます。何でもご相談ください。

**次** に、「みんなで学びあう社会の実現」についてです。

・今年度は市民ホールの規模や機能について、市民の皆さまのご意見を伺いながら決めてまいります。たくさんのご意見をお寄せください。

・子ども達がスキー、陸上などの競技スポーツを小中高等学校を通して継続できるように指導者を確保しました。また、市民皆スポーツを目指して、楽しくスポーツに親しみましょう。

**三** つ目は「名寄にある知的財産の活用」についてです。

・なよろ市立天文台「きたすばる」に北海道大学の望遠鏡が設置されました。もうご覧になりましたか？これを機会に、北海道大学の教授や学生と名寄の子どもや市民との交流、(仮称)天文少年団の結成などにも取り組みます。

・名寄市立大学の先生方や学生の皆さんの支援、協力をえて、教職員の研修や

特別支援教育、各種の社会教育活動の充実を図るとともに、学校教育においては教育実習などを積極的に受け入れます。

## 教

育は未来への投資です。生きる力を培い、豊かで潤いのある人生を送る糧を生み出す大切な営みです。費用と効果をはかりにかけることなく、明るく生き生きとしたまちづくりをしようではありませんか。

私の生活信条は三つのS（スピード・センス・スマイル）ですが、教育委員会も三つのSで頑張りますので、どうぞよろしく願いいたします。

へっちゃんLAND



※教育長コラムは、FMなよろ『Airてっし』でも5月11日と20日の午前と午後放送を予定しています。